



ふっこう訓練通信



令和7年10月／発行：葛飾区都市整備部都市計画課（担当：田上・山本・石塚）／電話：03-5654-8382

青戸地区震災復興まちづくり訓練がはじまりました！

9月25日（木）18時半から「青戸地区 震災復興まちづくり訓練 第1回訓練」を開催しました。

「震災復興まちづくり訓練」とは、青戸地区で被災した場合を想定し「どのように住まいを再建するか」「どんなまちに復興していきたいか」を地域の皆さんと区職員で話し合う訓練です。訓練を通して、震災時に地域の皆さんと葛飾区と一緒に「復興を進めていくための手引きとなる『青戸地区震災復興の進め方』」をまとめる予定です。

この「ふっこう訓練通信」では、各回の訓練の様子をご紹介します。

当日の資料などは、区のホームページでご覧いただけます。

トップページ>くらし・手続き>安心・安全>防災・国民保護>震災復興まちづくり訓練について

第1回訓練の様子



今後の訓練スケジュール

会場：青戸地区センター3階大会議室
時間：18時30分～20時30分

- ▶第2回訓練 令和7年10月29日(水)「被災後の住まいの復興を考える」
- ▶第3回訓練 令和7年11月20日(木)「被災後の都市の復興を考える」
- ▶第4回訓練 令和8年1月28日(水)「青戸地区震災復興の進め方」をまとめよう

※次回訓練からでもご参加いただけます。ご興味のある方は、裏面案内よりお申込みください。

多くの方のご参加をお待ちしております。

※既にお申込みいただいた方は再度のお申込みは不要です。

どなたでも
ご参加いただけます！ホームページへの
アクセス
はこちらから

ガイダンスを実施しました！！

第1回訓練（令和7年9月25日）「復興について学ぶ」の概要

ガイダンスとなる第1回訓練では、地域の方々29名にご参加いただき、「事前復興まちづくりについて学ぶ」と題して、区より訓練概要の説明のほか、「首都直下地震のイメージ」や「被災者支援制度」について説明がありました。特別講演では、「事前復興の発端と想定地震の変遷」、「能登の複合災害を踏まえた複眼的な復興計画の必要性」、「阪神・淡路大震災後の神戸市の迅速な復興事例から学ぶ平時からのまちづくりの大切さ」、「事前復興の重要性」について学びました。訓練の詳細は裏面をご覧ください。

第1回訓練の内容

- (1)「被災前のくらしをいち早く取り戻すために」葛飾区 地域振興部 危機管理課
- (2)復興のイメージづくり(DVD 上映)
- (3)講演「事前復興まちづくり訓練とは ～首都直下地震、どこよりも早く復興するために～」
東京都立大学 名誉教授 中林 一樹 氏
- (4)今後の予定

(1)「被災前の暮らしをいち早く取り戻すために」

葛飾区 地域振興部 危機管理課

- ・首都直下地震発災時の葛飾区の被害想定は能登半島地震での石川県全体の被害とほぼ同じとされていることをご認識いただきたいと思います。区内の耐震化率（戸数）は 95%であるものの、4,589 棟の建物全壊や 5,373 棟の焼失、液状化の発生などの被害が想定されています（※）。
※首都直下地震等による東京の被害想定（令和 4 年 5 月東京都公表、都心南部地震の場合）。焼失棟数は倒壊棟数を含まない。
- ・想定される避難所避難者数約 11 万 3 千人に対して、スフィア基準（国際基準）を適用すると、避難所の収容能力は約 3 万人に激減するため、被害そのものを減らす必要があります。「避難をしない環境づくり」として、耐震診断・耐震改修助成や地盤調査・液状化対策助成等、**区の各種助成制度をぜひご活用いただきたいと思います。**
- ・事前に制度の理解や周知を行うため、「被災者生活支援ガイドブック」を作成しております。

(2) 講演「事前復興まちづくり訓練とは

～首都直下地震、どこよりも早く復興するために～

東京都立大学 名誉教授 中林 一樹 氏

●想定外の事態を前提に備え、個人の生活再建と地区の復興まちづくりを平時から事前に訓練しておくことで、発災時の復興を迅速に進めることができる

- ・能登半島地震では、津波で住民が避難しており初期消火が困難な状況でした。さらに仮設住宅が整備された後に豪雨が発生し「複合災害となりました。これからは、地震の後、水害も起きるかもしれないということも踏まえながら考えていかなければなりません。
- ・個人の復興（生活再建）と地区の復興まちづくりをどのように進めていけばよいかを事前に想像し、復興の進め方を考え、備え、準備することが重要です。この取り組みを事前復興といいます。
- ・阪神淡路大震災後の神戸市の復興は、ほかの災害と比べて最速でした。これは平時のまちづくりを住民と行政が協働して行っていたことによるものです。
- ・青戸地区が被災した際に、より良いまちに復興していけるよう、一人一人の被災者復興とともに、被災地振興についても一緒に考えていきましょう。

葛飾区都市計画マスタープラン
には「復興まちづくりの方針」
が記載されています



●みなさんが訓練の中心です

「超高齢社会」や「人口減少土地あまり社会」など、時代によって多様化する課題に適した災害につよい街づくりを進めるために、「想像力」と「創造力」の2つのそうそう力で考えましょう。

想像による“事前復興”が、強靱な青戸地区を創造します。



参加申込シート（FAX 送信用） 葛飾区 都市整備部 都市計画課 宛 FAX：03-3697-1660

フリガナ
お名前

住所 〒

TEL

メールアドレス

WEB でお申込みの方はこちら



二次元コード
を読み込み、必須
事項にご回答く
ださい。

※FAX 送付の方は必要事項をご記入のうえ、こちらの紙面をお送りください。
※収集した個人情報本訓練以外の目的では使用いたしません。

【申込締切】10/28（火）まで